

24 県経評第2号
平成25年2月22日

福島県病院事業管理者
丹羽 真一 様

県立病院事業経営評価委員会
委員長 竹之下 誠 一

県立病院改革プラン取組状況の評価について

県立病院については、県立病院改革プランの基本目標である「地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化」に向けて、様々な取組を推進しており、改革プラン3年目の平成23年度においても、取組を着実に実践したほか、財務面でも不良債務を解消するなど、一定の改善が図られており、概ね妥当であると評価できます。

なお、より住民の視点に立った県立病院の経営改善を進めるため、当委員会設置要綱第2条の規定に基づき、下記のとおり助言を行います。

記

1 新たな経営戦略の検討について

会津総合病院及び喜多方病院が、平成25年5月に県立医科大学会津医療センターに移行することが決まっており、県立病院事業の枠組みが大きく変わることから、県立病院として残る3病院（大野病院は除く）の強み・弱みを分析のうえ、「強み」を伸ばし特色ある病院づくりを目指すとともに、「弱み」を克服するための方策を検討するなど、新たな経営戦略を検討する必要がある。

2 地域に信頼される病院づくりについて

患者ニーズに対応し患者満足度のさらなる向上につなげるため、患者さんのみならず、そのご家族や面会者から意見を聴取するなどニーズの把握に努めるとともに、それらに的確に対応しながら、地域に信頼される病院づくりを一層推進する必要がある。

3 地域との連携について

地域との連携に当たっては、病院や医療従事者などとの連携だけではなく、地域住民との連携も重要であることから、引き続き、地域に出向き、県立病院が持つ専門知識や技術などを紹介するなど、地域住民と一体となった健康づくりに取り組む必要がある。

平成25年度の取組（中間報告）

1 新たな経営戦略の検討について

新県立病院改革プランの策定

平成25年5月に設置した新県立病院改革プラン検討委員会（以下「検討委員会」という。）において、意見を伺いながら、現プランの後継計画となる「新県立病院改革プラン（以下「新プラン」という。）」の策定作業を進めている。（今年度中に策定する方針）

新プランの策定にあたっては、強みを活かす「攻めの戦略」と、弱みを補う「守りの戦略」を計画づくりの基本として検討を進めていく。

《経営評価委員会と検討委員会との役割分担について》

名称	役割	備考
経営評価委員会	現プランの進捗管理・評価	
検討委員会	新プランの策定	新プラン策定をもって廃止

2 地域に信頼される病院づくりについて

患者満足度調査を通じた利用者ニーズの把握

患者満足度調査の実施。
（実施予定期間：11月～2月の間の1週間、調査対象：患者さん、付き添いの方など）
平成24年度患者満足度調査結果（宮下・南会津病院の集計）は、別紙1のとおり。

3 地域との連携について

地域住民の健康増進支援

地域の実情に応じた健康づくりを地域住民と一緒に考えながら、疾病の予防や健康の維持・増進のための支援を行っていく。

（主な支援内容）

- ・出前講座の実施（矢吹、宮下病院）
- ・児童思春期に関する講演会の開催（矢吹病院）
- ・小児科医による保育施設等での医療相談会（南会津病院）